

令和4年度 経営発達支援事業実績報告 資料

経営発達支援計画の概要

実施者名 (法人番号)	みまさか商工会 (法人番号 4260005007548)
実施期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
目標	1. 地域の経済状況を見据えた事業計画の作成、実施とフォローアップを通じて小規模事業者の経営力の向上を支援する。 2. 新たな商品開発や既存する商品の掘り起こし・ブラッシュアップ等を実施し、「みまさか」を代表する商品を作ることで、販路開拓を強化し売上拡大を支援する。 3. 創業・起業の支援体制を充実させ新規事業者の増加を図る。 4. やる気のある後継者の経営支援（第2創業や経営革新）を実施。既存事業者の持続的な経営発展並びに存続を支援する。
事業内容	1. 経営発達支援事業 (1) 地域の経済動向調査に関すること 収集した経済動向データをわかりやすく分析・加工し地域内の事業者へ情報を発信し実現性のある経営支援を行う。 (2) 経営状況の分析に関すること 事業者が抱える問題を巡回訪問等での聞き取りにより収集し、現在の経営状態、今後の方向性を導く経営分析を行う。 (3) 事業計画策定支援に関すること ①事業計画策定セミナー・個別相談会を開催し、事業計画のノウハウ、策定支援、策定後のフォローアップ等、事業者の立場に立った支援を行う。 ②起業塾を開催し起業予定者の支援を行う。 (4) 事業計画策定後の実施支援に関すること 事業計画策定及び起業後も基礎的・専門的支援等により、フォローアップを行い事業者が安定的な成長を図れるよう支援する。 (5) 需要動向調査に関すること 事業者が自社の強みを認識して顧客や市場を絞込み、消費者ニーズや嗜好、想定される売場やバイヤー等評価の把握を行い、事業計画策定や商品開発の判断材料として実現性のある経営支援を行う。 (6) 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること 事業領域を踏まえた販路に対し、事業者の限られた経営資源を有効に生かし、中期的に収益を上げられる販路開拓を行う。 2. 地域経済の活性化に資する取組 地域内外の連携を多様化することで、更なる活性化を図る。
連絡先	〒707-0025 岡山県美作市栄町187-4 みまさか商工会 支援2課長 春名宏治郎、支援課長 光井 学 TEL: 0868-73-6520 FAX: 0868-72-6350 URL: http://www.mimasaka-sci.org/ E-mail: mimasaka@okasci.or.jp

経営発達支援事業の実績

1 経営発達支援事業

【実施概要】

令和4年度も小規模事業者の経営発達に特に資するものとして、みまさか商工会経営発達支援計画に基づき、事業者の多様な相談ニーズに対応するため、各種個別相談会及びセミナーを開催しました。本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、個別相談会を中心に、持続的な経営発達を目指す小規模事業者のための事業計画策定を支援しました。また、経営指導員等による窓口や巡回訪問等により、地域の経済動向調査、経営状況の分析、事業計画策定後の実施支援を行い、個々の事業者の経営状況に密着したきめ細かな経営支援を実施しました。さらに独自性のある製品を製造・販売している事業者に対し、各種商談会や物産展など、商圈や販路の拡大を見据えた需要動向の把握と新たな需要の開拓につながる情報提供や「みまビズ」をはじめとするITを活用した販路拡大支援等、新事業展開・販路開拓等を支援しました。以下、令和4年度の経営発達支援事業の実績を報告します。

事業計画策定事業者数	197
内、補助金申請に係る策定事業者数	100
内、計画申請・金融・創業等に係る策定事業者数	97

【事業計画策定支援の実績】

1	経営革新計画	6
2	経営力向上計画	7
3	先端設備導入計画	7
5	事業承継計画	3
6	各種金融あっせんに係る資金計画	56
7	小規模事業者持続化補助金事業計画	28
8	ものづくり補助金事業計画	5
9	岡山県地域課題解決型起業支援金事業計画	2
10	事業再構築補助金事業計画	6
11	岡山県省エネ設備更新補助金事業計画	37
12	エネルギー効率化・新事業展開等による生産性向上支援事業補助金事業計画	16
13	美作市スタートアップ支援事業補助金事業計画	2
14	勝央町創業支援事業補助金事業計画	4
15	その他 経営計画作成	18
	合 計	197

2 地域経済の活性化に資する取組み

【実施概要】

(1) 地域振興事業

コロナ禍において、中止を余儀なくされていた地域振興事業について、特に過疎化・高齢化が進展しているみまさか商工会エリアにおいては、地域経済の底上げを図るためには不可欠なものであります。全部の地域ではありませんが、令和4年度は様々な制限下の中、開催することが出来ました。引き続き、イベントの開催や観光客の取込み等、地域に根差した地域振興策を実施して行きます。

- ・美作ふるさと祭り花火大会（7/30）
- ・東栗倉夏祭り花火大会（8/13）
- ・西栗倉村夏まつり花火大会（8/13）
- ・かつたっ子秋祭り（10/22）

(2) 外国人技能実習制度

外国人技能実習制度は日本の技能や技術、知識を開発途上国へ移転し、その地域の経済発展に寄与することを目的とした制度です。みまさか商工会は、ベトナムからの外国人技能実習生受入監理団体となっています。みまさか商工会エリアに、在留外国人は493名（R4.4.1現在）で、外国人技能実習生が実習を通じて地域振興や国際交流にも貢献していると考えられ、地域を挙げて実習生を取り巻く環境を整備していく必要があります。外国人一人ひとりの生活及び労働面等の異なるニーズに、柔軟に対応する姿勢を持つとともに、地域全体で外国人の受入れと共生に向けた意識を育むための環境整備及び制度づくりを進めることが必要です。今後は、働きやすさの観点から外国人に地域の魅力を効果的に発信していくことも重要であり。引き続き当会の重点事業として管内事業者の積極的な支援を実施して行きます。

【外国人技能実習生受入れの実績】

年度	受入人数
平成28年度	4
平成29年度	3
平成30年度	8
令和元年度	28
令和2年度	6
令和3年度	29
令和4年度	30
合 計	108

みまさか商工会 外国人技能実習生受入事業

外国人技能実習制度 を活用してみませんか？

みまさか商工会では、外国人技能実習生を招入れる監理団体として事業を実施しています。

この制度は、働きやすさの観点から、外国人技能実習生が実習先と雇用関係のほかに、技術・技能・知識を修得させ、実習生自身の経済発展の担い手となる人材を育成することを目的としています。

- 対象職種：8つの職種16の作業（R4.4.1現在）
- 受入可能人数：労働実数により異なります。※適度変更
- 費用等について：入国費用、検定費、開業手当、旅費費、生活に必要な諸費（住居の確保）などが必要となります。詳細は商工会までご確認ください。

Q.1 外国人技能実習生を修習すると、すぐに雇用できる？
Answer: 雇用を目的とする場合は、お申込から約7カ月程度が必要となります。修習が終了した後は、監理団体を介し、実習生が入籍します。

Q.2 賃金はどのように決定する？
Answer: 受入企業側の賃金決定に即して決定していただきます。

Q.3 通訳のサポートは受けられる？
Answer: 商工会には通訳が常駐し、随時サポートを行っています。

【お問い合わせ先】 みまさか商工会まで TEL: 0868-73-5129 E-mail: minamasa@kaiac.or.jp

令和4年度伴走型小規模事業者支援推進事業の実績

◎伴走型小規模事業者支援推進事業とは

商工会・商工会議所が認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき実施する 小規模事業者の経営分析、事業計画の策定、需要開拓などに要する経費へ補助事業。

◎事業内容

(1) 事業計画策定に係る個別相談会の実施

地域の小規模事業者及び創業者等に対し、個々の課題等に対する事項について個別相談を通じて最善策を模索し、経営指導員・専門家等が事業計画の策定支援をするうえで実効性の高い計画を策定支援する。また、指導員だけでなく専門家からもアドバイスをもらうことでより広い視野に立った事業計画の策定に取り組むことが出来るよう意識改革を行うことを目的に以下のとおり事業を実施した。

① 開催日時 令和4年8月23日、9月20日、10月25日、11月22日、12月20日、
令和5年1月24日 計6回
すべて、10:00～17:00（1日6時間計36時間）

②開催場所 みまさか商工会 本部2階会議室

③実施内容 地域事業者・創業（予定）者に対し、事業計画の策定支援をするうえで個々の課題等に対する事項について個別相談を実施し、のべ17事業者に対し実効性の高い計画の策定支援を中小企業診断士が個別に対応した。（6回）

④支援事業者数 17事業所のべ30事業者・34名 うち創業（予定）者6名

⑤講 師 (株)未来創造コンサルティング 近藤厚志氏（中小企業診断士）

⑥補助事業の成果

【定性】

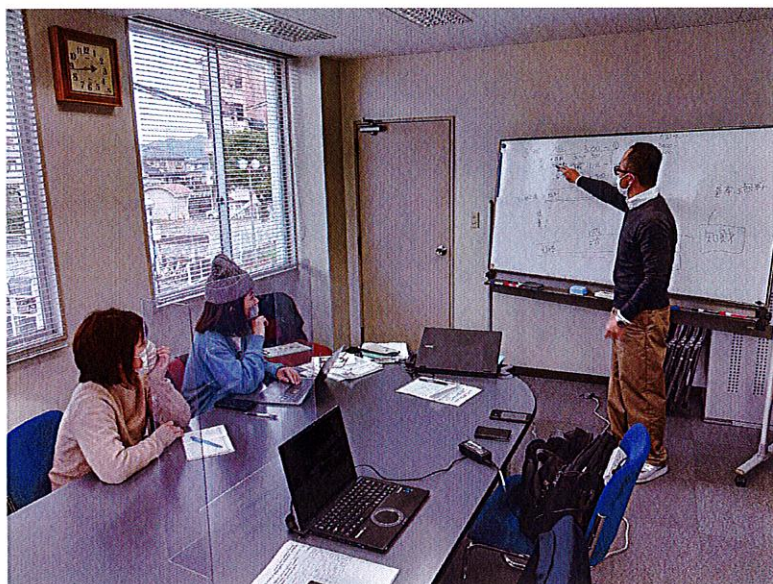
- ・経営革新や販路開拓のほか、新商品の開発、創業計画の策定を実施した事業者も目立った。
- ・本年度の特徴として、現在の事業を持続的に継続するための計画策定の相談のほか、創業して間もない事業者の販路拡大・広告宣伝・IT活用の相談、次年度以降創業を目指している事業者の創業計画策定についての相談も多かった。
- ・ほとんどの事業者が2回以上の複数回相談会に参加している。
- ・個別相談会参加者から口コミ紹介による商工会への支援依頼が多く寄せられている。

【定量】

- ・事業計画策定個別相談会相談事業者 16者 うち令和4年度創業者1者
- ・経営革新計画策定事業者 3者（1者認定）
- ・経営力向上計画策定事業者 1者（認定）
- ・持続化補助金申請事業者 2者（採択）
- ・創業計画書作成事業者 1者（勝央町創業補助金採択）
- ・創業計画書作成中 3者（令和5年度創業予定者）

【フォローアップ】

・計画策定後のフォローアップ並びに、計画作成中、未作成事業者については経営指導員が四半期に一度以上、事業計画策定の進捗状況を確認し、必要な支援を実施している。



令和4年度 特定型小規模事業者支援推進事業
事業計画書を作ったはみたものの、これでいいのかわからない…。
実現していくにはどうしたらいいのかわからない…。

こんな風に感じた方は、**今すぐお申込みください！**

事業計画策定・個別相談会のご案内

参加費：無料！ 専門家がマンツーマンで、あなたの作った事業計画と一緒にアドバイスをしながら、ブラッシュアップしていきます！
これからの展望を描いた「事業計画書」、より明確に、より実現できるものに一緒に磨き上げていきましょう！

この機会をお見逃しなく!!

- 【詳しくはこちらをご覧ください】
1. 日 時：①令和4年10月25日（火）10:00～17:00
②令和4年11月22日（火）10:00～17:00
 2. 場 所：みまさか商工会 本部 2階会議室
美作市栄町187-4 TEL0868-73-6520
 3. 受講対象：小規模事業者、事業後継者、創業予定者等
 4. 講 師：株式会社未来創造コンサルティング 近藤厚志 氏（中小企業診断士）
 5. 相談時間：1者 1時間程度 ※相談内容によって相談時間を変更する場合があります
- ※令和4年12月20日、令和5年1月24日（この両日の内容で個別相談会を開催します。詳細はあらためてご案内いたします。）

※お申し込みは、随時、受け付けいたしますので、お近くの各支所までお問い合わせください！

お申込先：みまさか商工会（FAX 0868-72-6350）

「事業計画策定・個別相談会」参加申込書

氏 名		連絡先	電話：
			FAX：
住 所		業 種	
参加希望日	月 日	所 属 地区名	地区
相談希望時間	～	備 考	

※上記にご記入いただき、この表をFAXでお申し込み下さい。
お問合せ：みまさか商工会まで TEL0868-73-6520（担当：光井、笠矢）
※当日参加できない方でも、後日、各地区の経営指導員が個別にお知らせすることもありますので、お見逃しなくお願いいたします。

令和4年度 みまさか商工会 経営発達支援事業 報告書

経営発達支援事業の目標

1. 地域の経済状況を見据えた事業計画の作成、実施とフォローアップを通じて小規模事業者の経営力の向上を支援する。
2. 新たな商品開発や既存する商品の掘り起こし・ブラッシュアップ等を実施し、「みまさか」を代表する商品を作ることで、販路開拓を強化し売上拡大を支援する。
3. 創業・起業の支援体制を充実させ新規事業者の増加を図る。
4. やる気のある後継者の経営支援（第2創業や経営革新）を実施。既存事業者の持続的な経営発展並びに存続を支援する。

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

実施概要	全国商工会連合会（中小企業景況調査）が毎月実施している地域の経済動向調査にみまさか独自に業種を追加し、製造業・建設業・小売業・サービス業の業況・売上・収益・採算・資金繰り等の状況調査を、地区ごとに毎月実施し、毎月作成されるレポートを事業者支援に活用する。
実績	地区内の業種別 80 事業所に対し、地区ごとに毎月巡回による調査（製造、建設、小売、サービス）を実施。毎月の取りまとめレポートのほか、年4回四半期ごとに作成されるレポートを経営支援に活用した。毎月データを取りまとめレポート化したものを地域内の小規模事業者支援に用いることで実現性のある提案や経営支援に活用した。
改善点等	全国連が取りまとめたレポートを提供するのではなく、みまさか商工会エリア内の経済動向の調査結果を取りまとめた調査データのレポートを作成する事で、より地域動向を把握しやすい、景気動向調査レポートを作成し、商工会ホームページによる公開を行うほか巡回窓口指導時等に経営支援の資料として小規模事業者へ配布することを目標とする。

2023年2月22日
全国商工会連合会

小規模企業景気動向調査 [2023年1月期調査]

～コスト高騰と物価高騰による消費者の節約志向から、苦境に立たされる小規模企業景況～

<産業全体> コスト高騰と物価高騰による消費者の節約志向から、苦境に立たされる小規模企業景況

1月期の産業全体の景況は、年末年始のイベント需要が落ち着き、全DIが大幅に悪化した。特に全業種で採算DIが大幅に悪化しており、価格転嫁が追いつかず、コスト高騰が経営を圧迫している。また、物価高騰による消費者の節約志向の影響や、今後の見通しへの不安感と、後継者不足や代表者の高齢化とあいまって廃業を選ぶ事業者も多い、とのコメントがみられた。

DI	12月	1月	前月比
売上額	25	▲36	▲6.1
採算	▲424	▲50.5	▲8.1
資金繰り	▲327	▲37.7	▲5.0
業況	▲27.7	▲33.5	▲5.8

<製造業> エネルギー価格や原材料費等のコスト高騰から、採算DIが圧迫される製造業

製造業は、採算DIが大幅に悪化し、売上額・業況DIが小幅に悪化した。燃料価格高騰による電気代等の値上げが採算DIの悪化に繋がっている。食料品関連は、仕入価格やコスト高騰に価格転嫁が追いつかず、全DIが大幅に悪化した。繊維関連は、資金繰り・業況DIがわずかに改善し、売上額DIが小幅に悪化した。機械・金属関連は、資金繰りDIが大幅に改善した。半導体不足が解消され始めたことや、輸出における円安の効果から改善傾向が見られた。

DI	12月	1月	前月比
売上額	26	▲0.4	▲3.0
採算	▲49.3	▲54.9	▲5.6
資金繰り	▲37.9	▲39.9	▲2.0
業況	▲31.9	▲34.8	▲2.9

<建設業> コスト高騰と人手不足から採算DIの悪化に苦しむ建設業

建設業は、全DIが大幅に悪化し、特に採算DIは前期より2桁pt超悪化した。売上額DIは前年同時期より改善しているが、採算DIは同時期より悪化しており、コスト高騰が採算性を悪化させている。業界全体として、人手不足による工期延長が売上減少を招いていることや、人件費の底上げの影響もあり、経営改善の見込みが立たない状況に陥っている。

DI	12月	1月	前月比
売上額	7.1	▲0.5	▲7.6
採算	▲40.7	▲52.3	▲11.6
資金繰り	▲30.8	▲37.8	▲7.0
業況	▲27.9	▲35.5	▲7.6

<小売業> 消費者の節約志向から価格転嫁に踏み切れず、コスト高騰に苦しむ小売業

小売業は、全DIが大幅に悪化し、採算・資金繰りDIともに直近1年間の中で最も低い数値であった。物価高騰や電気・ガス代の高騰が消費者を節約志向にさせており、小規模事業者は価格転嫁がしにくい状況となっている。衣料品、食料品関連は全DIが大幅に悪化、一部ではコロナウィルス感染症の落ち着きによる売上改善が見られるものの、コスト負担の増加に価格転嫁が追いついていない。耐久消費財関連は、採算DIが大幅に悪化し、売上額・資金繰りDIが小幅に悪化した。

DI	12月	1月	前月比
売上額	▲52	▲126	▲74
採算	▲49.7	▲57.1	▲7.4
資金繰り	▲38.7	▲45.9	▲7.2
業況	▲36.1	▲43.1	▲7.0

<サービス業> 閑散期による売上減少に加え、コスト高騰に苦しむサービス業

サービス業は、売上額・採算・業況DIが大幅に悪化し、資金繰りDIは小幅に悪化した。旅館関連は、売上額・業況DIが大幅に悪化した。閑散期であることに加え、全国旅行支援の割引率の低下により、以前と比較すると、客数の増加が見込めない状況となっている。クリーニング関連は、コスト増加が止まらず、採算DIが大幅に悪化し、廃業を考える事業者も多い、とのコメントがあった。理・美容関連は、採算・業況DIが大幅に悪化し、特に採算DIは2桁pt超の悪化となった。

DI	12月	1月	前月比
売上額	55	▲1.1	▲6.6
採算	▲29.9	▲37.5	▲7.6
資金繰り	▲23.4	▲27.1	▲3.7
業況	▲14.7	▲20.4	▲5.7

調査概要

・調査対象:全国約300商工会の経営指導員

・調査時点:2023年1月末

・調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

産業政策部 産業政策課 担当:宮川、元木 〒100-0006 千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 MAIL:sangyo@shokkai.or.jp

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

実施概要	経営指導員等による定期的な巡回指導や、小規模事業者が個社で抱えている経営課題解決のため個別相談会、金融・労務・税務などの窓口相談業務により分析の対象となる小規模事業者を重点支援先としてピックアップし、個々の経営状況等を把握しながら中小企業診断士等の専門家と連携することで、事業者の実態を把握し事業計画策定支援につなげていった。
実績	1. みまさか商工会会員事業所より200事業所をAランク支援先として位置づけ、継続的に財務情報を管理することにより経営分析を実施した。また、経営計画策定支援状況、補助金申請支援状況、資金調達支援状況についても、一括管理を行うことで、継続的な支援管理を行っている 2. 上記200事業所を含め、全体で事業計画策定支援・決算申告指導等を行っている会員事業所360事業所の決算データを小規模支援システムに取り込み、経営状況の分析を行うことで、収益パターンの分析をおこなった。(下記 業種別収益状況表参照) 3. 巡回・窓口相談件数 14,767件 (小規模事業者に対するもの) R5.3.15現在 4. 専門家派遣回数 県制度・県連嘱託等 23事業者 56回 事業承継コーディネーター派遣 11事業所 12回 経営安定特別相談 1事業所 2回 5. 各種セミナー、個別相談会の開催実績については、別記載
改善点等	本年度もコロナウイルス感染拡大防止により、セミナーについては、集団よりも個別相談会を中心に開催した。アフターコロナに向けての取組の他、ITによる販売促進や、創業者からの相談も多く、経営状況の分析については、個別相談会の方が、事業所ニーズに沿った支援ができていると思われる。

みまさか商工会 業種別収益状況

業種名	収益パターン				
	企業数	増収・増益	減収・増益	増収・減益	減収・減益
農業・林業・漁業	6件	2件	1件	0件	3件
建設業	75件	19件	7件	11件	36件
製造業	56件	17件	5件	12件	17件
情報通信業	1件	0件	0件	0件	1件
運輸業	6件	2件	0件	0件	3件
卸売・小売業	83件	20件	8件	14件	38件
不動産業	1件	0件	0件	0件	1件
飲食店・宿泊業	47件	28件	3件	2件	12件
医療・福祉	7件	3件	0件	0件	4件
教育・学習支援業	5件	2件	0件	1件	1件
サービス業	93件	22件	10件	7件	49件
合計	362件	115件	34件	48件	165件

※データは、令和3年度の各事業所の決算データをもとに分析

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

実施概要	本年度は、コロナに苦しんだ事業者に対し、現在の課題とアフターコロナを見据えた事業計画の策定支援を踏まえた、自社の経営計画策定個別相談会を中心に事業計画策定支援を実施した。また、創業を目指すものや新たに事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行い、単なる計画策定にとどまらず、労務、金融、税務、販路拡大、IT等幅広いテーマで講習会を開催することで、幅広い分野における専門的支援を実施し、事業計画の策定に繋げた。
実績	1. Aランク支援先200社の経営計画策定指導実績 経営計画策定支援件数 143回 補助金申請支援指導件数 725回 資金調達支援指導件数 140回 その他施策支援件数 21回 合計指導件数 1,029回 ※全体の経営計画策定に関する指導件数は、別に集計表に記載 2. 講習会等の開催実績 ・経営計画個別相談会 10回開催 (49名うち伴走型事業によるもの29名) ・販路開拓個別相談会 4回開催(24名) ・労務個別相談会 2回開催(10名) ・デジタル化個別相談会 6回開催(28名) ・金融個別相談会 6回開催(19名) ・インボイス講習会【集団】2回開催(36名) ・インボイス個別相談会 8回開催(47名) ・創業セミナー 全5回開催(10名 5回計のべ45名) 計43回開催 参加者258名
改善点等	既存事業者・創業予定者等問わず、幅広い分野にわたり、講習会・個別相談会を実施した。参加者は多かったが、参加者に偏りがみられ、また対象を絞り切れなかったため、次年度は対象を明確にして、事業計画の策定支援に取り組みたい。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

実施概要	事業計画を実施期間中の事業者に対しては、経営指導員等による巡回指導とヒアリングを随時行い事業計画の進捗状況のチェックと専門家による個別相談による助言を行い、必要とあれば事業計画の軌道修正を行う等、伴走型の支援を実施した。創業後間もない事業者については、当面の間、経営指導員が定期的に巡回訪問することで、課題の早期発見と是正を促しながら、継続的にフォローアップを行い、早期に経営を軌道に乗せるよう支援を行った。
実績	Aランク支援先200社の経営計画フォローアップ指導実績 経営計画フォローアップ指導件数 12回 補助金申請フォローアップ指導件数 187回 合計指導件数 199回 フォローアップのための、個別相談会の開催回数・参加人数などについては、上記4. 事業計画策定支援に関する事の実績欄に記載
改善方法	フォローアップ実施体制が不明確であり、実施方法の検討が必要。

令和4年度 経営発達支援計画に係る指導件数集計表

令和5年3月20日現在

細目	指導件数		経営状況分析		事業計画策定支援		フォローアップ [※]		合計	
本部・支所	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
美作本部	350件	2226件	1件	1件	16件	49件	17件	56件	26件	106件
勝田支所	74件	1148件	0件	0件	14件	44件	17件	67件	21件	111件
大原支所	159件	2027件	7件	10件	14件	104件	19件	87件	25件	201件
東粟倉支所	48件	787件	1件	1件	6件	89件	4件	40件	7件	130件
作東支所	155件	3151件	9件	20件	19件	164件	24件	136件	31件	320件
英田支所	95件	2900件	6件	7件	0件	0件	6件	7件	6件	14件
勝央支所	285件	2693件	40件	88件	46件	75件	10件	27件	70件	190件
西粟倉支所	74件	1399件	0件	0件	9件	70件	14件	77件	16件	147件
合 計	1240件	16331件	64件	127件	124件	595件	111件	497件	202件	1219件

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

実施概要	計画経営を支援する事業所には、経営指導員等が日常の巡回・窓口相談時に需要動向の調査の必要性の説明を行った。また、事業計画策定時においては、自社の製品の需要動向の調査が必須であることを説明し、事業計画策定時においては、それぞれの事業領域に応じ調査を行うほか、計画実行時に対象とする市場や顧客を明確にした「商品開発や改良」、「新たな販路開拓」等に取り組むことで事業成果の向上を図るための周知を行った。本年度は、個別相談会において、販売促進・ITを活用した販路拡大の比重を増やし、売れ筋商品のトレンドや検索数上位についての調査方法等を事業者に向けて積極的に発信することで、需要動向に関する知識や手法の習得を学んだ。
実績	① 販路開拓個別相談会 4回開催 のべ24名参加 ② デジタル化個別相談会 6回開催 のべ28名参加 ③ 物産展等でのテストマーケティングの為の情報提供 168件 ④ 商談会でのバイヤー意向調査の為の情報提供 280件
改善方法	経営計画策定事業者に対し、専門家の活用を促し実施していく。 特に、ITを活用した需要動向調査と情報提供を積極的に実施して行く。 また、アフターコロナを見据え、今後活発になるであろうと予想される商談会や物産店等への参加を促すための情報提供を推進して行く。



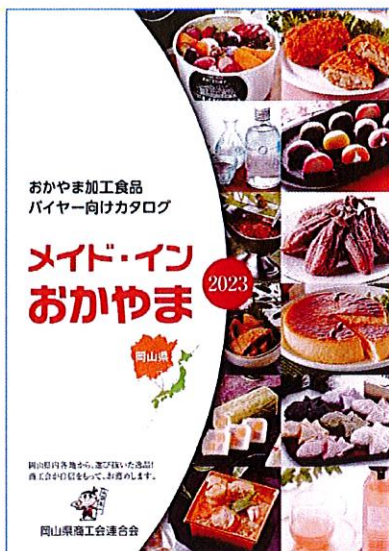
販路開拓個別相談会



デジタル化個別相談会

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

実施概要	IT 販促ツール「みまビズ」を活用した販路拡大支援の実施として、みまさか商工会の会員事業所が、企業情報を広く PR することで、商圏や販路を広げ、新たな取引拡大に繋げることを目的とした企業紹介ポータルサイト「みまビズ」を活用し需要開拓を行った。 また、Google ビジネスプロフィール等の IT ツールを活用した情報発信を学ぶための、個別相談会を実施。コロナ禍において大きく変化した DX への対応を積極的に支援することで、需要の開拓に取り組んだ。さらに、各種商談会や物産展への出展、商品のカタログ掲載など、販路拡大につながる様々な機会に関する情報を提供し、積極的な販路拡大に繋げた。
実績	1. 「みまビズ」 R4 掲載実績 掲載事業者数合計 242 事業者 うち、小規模 221 事業者 2. 展示会・商談会等 参加実績 ①オールおかやま商工会マルシェ 2 事業所参加 ②バイヤーズワン商談会 1 事業者参加 1 件の商談成立 ③インターナショナルギフトショー 岡山県ブース 1 事業所出展 商談件数：42 件、商談成立：2 件、商談成立見込み：3 件 ④おかやま加工食品バイヤー向けカタログ 22 事業所掲載 ⑤晴れのめぐみ 岡山ブランドカタログ掲載 16 事業所掲載 ⑥オンライン物産展 商工会マルシェ 3 事業所参加 ⑦「ええもん・うまいもん」食と雑貨の展示商談会 3 事業所参加 事業所 A 商談件数：2 件、商談成立：2 件 事業所 B 商談件数：3 件、商談成立：0 件、継続交渉：3 件 事業所 C 商談件数：3 件、商談成立：1 件、継続交渉：2 件 ⑧「商品企画・開発・改良アドバイス会・ネットワーク構築会」 1 事業所 参加（中小機構サポートによる商品改良・商談会出展） ⑨ ヒットをねらえオンライン商談会 1 事業所参加 商談件数：3 件 催事出展決定：2 件
改善方法	本年度は新型コロナウイルス感染を踏まえ、非対面型の WEB 商談会と並行して 3 年ぶりに感染対策を施しながら、商談会等が開催された。 コロナ禍の影響で、バイヤーとの商談も非対面型へと変化しつつある。。 今後は、DX 化でさらに市場の拡大が見込まれることから、IT による EC 支援を行いながら、事業者の情報提供を行い、需要のさらなる拡大に向けてサポートしていきたい。また、引き続き IT 販促ツール「みまビズ」（企業紹介ポータルサイト）の活用方法強化、参加企業の継続募集、掲載内容の更新や引合い調査等、事業者の伴走支援を行っていく。



バイヤー向けカタログ



「ええもん・うまいもん」食と雑貨の展示商談会



地域から広がる大きな可能性『みまビズ』

『みまビズ』はみまさか商工会管内（英作・勝田・大原・車聖倉・作東・栗田・結央・西栗倉）で事業を展開する企業の基本情報や強みをデータベース化しPRすることで、地域内の取引促進、県内外での新たな販路の拡大、ビジネスパートナーを探していただくことを目的としたポータルサイトです。

「みまビズ」ホームページ

Ⅱ. 地域経済の活性化に寄与する取組

7. 地域経済の活性化に寄与する取組

実績概要 及び実績	① 地域経済の根幹となる、外国人技能実習生受入事業は、地域課題の解決策の一つとして、地域事業者のニーズにマッチしていることで、年々問い合わせや引き合いが多く、当会の重点事業として機能している。 ② 観光部会事業による、管内（美作市・勝央町・西粟倉村）にある有形・無形の飲食店・宿泊・レジャー施設等の観光資源の情報を記載した、観光ルートマップのリニューアル作業を実施。 新しい試みとして、マップ上のQRコードをスマートフォン等で読み込むことでGoogle Mapとの連携機能を付加させた。 ※令和5年5月頃配布予定 ③ 夏まつり等の地域活性化イベントは、3地区で実施 ④ 発達支援計画の中で計画していた「みまさか活性化会議」は未実施 ⑤ 管内では過疎化・高齢化が進展しており、小売店舗のない地域における買物難民対策等についての検討は実施できていない。
--------------	---

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取組

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

実施概要 及び実績	① 県連合会及び近隣の商工会（真庭・作州津山・久米郡・鏡野町）との連携協調による、支援ノウハウや情報の共有 ② 地元行政との情報共有と連携しての地域事業者支援の実施 ③ 民間金融機関との連絡協調及び日本製策金融公庫との協議会の実施 ④ 税務署及び税理士会との連絡会議の実施 ⑤ 岡山県事業承継ネットワークとの連携 ⑥ 岡山県よろず支援拠点と連携した事業者支援
--------------	---

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること

実施概要 及び実績	1. 支援力向上のための職員の研修受講 ① 中小企業大学校研修への派遣 5名 ② 県連主催の各種研修会の参加 管理職・指導員・職員研修等 ③ インボイス導入に伴う職員研修会の開催 全職員を2組に分け実施 2. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制づくりの構築。 ① 支所長会議（毎月実施）及び指導員会議開催による情報共有 ② 連合会職員を会議に招いての情報共有 ③ 商工会ファイルサーバー内に各種補助金申請書を保存し、閲覧できる状態にしておくことによる職員間の支援ノウハウの共有
--------------	---

10. 事業の評価及び見直しに関すること

実施概要 及び実績	本会理事会等において、経営発達支援事業の実績を報告し、評価・見直しについての意見を聞き、次年度の取り組みを決定する。事業の成果・評価・見直しの結果については、通常総代会へ報告し承認を受ける。
--------------	---